

主催：次世代研究プロジェクト推進プログラム

「論理思考の次世代型研究と論理的思考力発達支援への応用研究」

慶應義塾大学先導研究センター 論理と感性の先端的研究拠点
公開講演会

Training and Credentialing Practitioners of Behavior Analysis

James E. Carr (CEO, Behavior Analyst Certification Board)

指定討論：竹島浩司（なごや自閉症治療教育相談室）

2015年7月31日(金)

13:30 - 15:00

慶應義塾大学（三田）
東館8Fホール

下記、キャンパスマップ
「3」のビルの8階。

[http://www.keio.ac.jp/ja/
access/mita.html](http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html)

連絡先：慶應義塾大学
心理学専攻 山本淳一
yamamotj@flet.keio.ac.jp

社会学研究科特別招聘教授として講義をしていただいた、James Carr博士の公開シンポジウムを行います。Carr博士の専門は、応用行動分析学（Applied Behavior Analysis）です。Western Michigan University, Auburn Universityの教授を歴任され、現在は、国際的な行動分析学の資格である「行動分析士：BCBA(Board Certified Behavior Analysis)」の資格認定団体であるBACB(Behavior Analyst Certification Board)のCEO（最高経営責任者）です。このような仕事と同時に、アカデミックジャーナルに、言語行動、認知

機能、自閉症児への早期発達支援、リハビリテーション効果のメタ分析、問題行動解決のデシジョンプロセス、などで多くの研究成果を発表されています。指定討論者は、竹島浩司博士です。Western Michigan UniversityでCarr博士の薫陶を得て、BCBA-Dの資格を取得され、現在、民間の施設である「なごや自閉症治療教育相談室」を立ち上げ、自閉症スペクトラム障害のある子どもへの発達支援を進められています。国際的な心理学の認定資格の発展について、うかがう貴重な機会ですのでふるってご参加ください。